

八王子市立館小学校「平成24年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」〈健康な心身・活力〉
 「かがやく心」〈豊かな知性と感性・個性〉
 「仲間とともに」〈協調性・社会性〉
 「はばたけ未来へ」〈意欲・積極性〉
 の育成に向けた教育を推進する。

【教育目標】

「人皆に美しき種子あり」を基調に「1+1=2」になる教育の創造に努め、人間性豊かな子どもを育てる。

- 考える子 ◎明るい子
 ◎やさしい子 ◎はたらく子

1 地域の実態

- ◎7割強の子供が集合住宅の生活をしている。
 ◎共働きの家庭が他地域に比べ多い地域である。

2 地域住民・保護者の期待や願い

- ◎確かな学力の定着
 ◎主体的な活動の定着

3 期待される児童像

- ◎基礎学力に裏付けられた、応用力のある子
 ◎主体的な活動ができる自立した子

《本校の現状》「児童・生徒の学力向上を図るための調査」等の結果から分析できること

〔学校の特色としてさらに伸ばしたいこと〕

- ◇ 継続的な学習により、基礎・基本の定着を図る。
- ◇ 情報機器の活用により、効果的な学習の推進と定着を図る。
- ◇ 体験的な活動（栽培活動・人とのかかわり等）を通して、思いやりの心情、系統的な思考力、課題意識、主体的な判断力等を培う。

〔学校の課題として取り組むべきこと〕

- ◇ 一人一人の児童の実態に応じて、どの子にも理解できるよう系統的、継続的な学習を行うことにより、基礎・基本の定着を図る。
- ◇ 学習規律が身に付いていないことと学習の定着が不十分であることの関連が見受けられる。学年に応じた学習規律の徹底を図っていく。
- ◇ 今身に付けている力を応用・発展させて問題解決をしていく指導体制を推進する。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- 基礎・基本の繰り返し学習や習熟度学習の充実により、学習面における「分からない子」の減少に努める。
- 基本的な生活習慣および学習規律の徹底により、さらに効果的な学習環境を整備する。
- 個々の児童に適した教育内容を整備し、個別指導や特別支援教育の充実を推進する。

《本年度の学力向上の具体策》(いつまでに、どの程度)

- (1) 基礎・基本（国語・算数）を身に付ける系統的、継続的な学習の展開
 - ① 館小ががんばりタイムの実施 … 全校的な取り組みとして、月一回の補習を実施、教育課程への位置付け。
 - ② 家庭と学校との連携強化 … 年度当初に「しつけと家庭学習のすすめ」の冊子を配り、学校で取り組むこと、家庭で取り組むことを明確にして、それぞれが役割を十分果たせるように随時協力要請を実施。
 - ③ サタスタ（土曜日補充学習）の実施 … 館小ミニマムの活用・漢字検定への取り組みによる意欲の向上、地域の教育ボランティアの活用。（5月開始）
 - ④ 個への対応 … 少人数算数専科・非常勤講師等の活用により、児童一人一人に応じた対応をする。
 - ⑤ 問題解決学習への取り組み … 研究の視点を問題解決学習におき、学習を主体的に進める授業にする。
- (2) 読書の時間の確保
 - ① 週時程の朝に読書タイムを位置付け、読書時間を確保する（1学期より）。また、月1回の読み聞かせ集会を計画的に実施し、多岐にわたる読書の推進を図る。
 - ② 学校と家庭との協働の継続維持により、読書習慣の定着、拡大を推進する。
- (3) 体験的な活動（栽培活動・人とのかかわり等）の推進
 - ① 学校園での栽培活動を通し、校内外の人との交流を深める。
 - ② 大学との連携によるサイエンスパートナーシップでの体験や実験を通し自主的な態度を養う。（9月）
 - ③ 体験活動から学んだことを実生活に生かしたり、学習の場で応用できる児童の育成を目指す。

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

以下の取り組みを通し、PDCAのサイクルで改善を図る。

- ① 授業力向上を目指し、児童へ「授業アンケート」を実施し、アンケート結果をもとに個々の教師の授業改善を推進する。
- ② 朝の教室学習、館小ががんばりタイム等の実施時における評価、ミニテスト等で進捗状況を把握する。
- ③ 各教科の授業時間内での計画的な評価（見取り）を行なう。
- ④ 学校評価の中に家庭での学習や読書に関する評価項目を設定し、取り組みや実施状況を見直す。
- ⑤ 校内研究の全体会や分科会等で情報交換をすることにより、授業の定期的な見直しや修正を図るとともに、主幹・主任を中心として校内OJTを推進する。
- ⑥ 保護者会での意見交換を通し、家庭での様子を把握してさらなる実践の気風を高めていく。
- ⑦ 都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」・八王子市「学力定着度調査」の結果を分析し、本校児童の実態を客観的に捉えるとともに伸ばを図る手立てを明らかにする。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国 語	・授業の始めに、学習の流れを示すことで、何をやるのかということがわかっているようだ。 ・「楽しい」と感じる授業展開ができていない。 ・学習の決まりは少しずつ定着している。	・引き続き、本時の流れやめあてを明確にし、最初に説明するようにする。 ・教材研究を重ね、子供たちが興味をもてるよう工夫していく。 ・机間指導や個別指導で、具体的な指導をする。 ・学習の決まりは、常に確認するようにしていく。	音 楽	・音楽に対してとても反応がよく、音楽が聴こえてくると、合わせて体を動かしたり、歌ったりしている。 ・楽しんで音楽の学習に取り組んでいるが、集中力が持続しないことがある。	・授業時間内の音楽量を多くし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽に合わせて体を動かしたり、様々な活動を通して音楽の楽しさを感じられるようにする。 ・学習のルールを適宜指導し、定着させていく。
社 会			図 工	・全体的に造形活動が好きな児童が多く、意欲的に活動している。 ・絵の具の正しい使い方ができていない児童が数名いる。 ・道具を大切にできない児童がいる。	・造形あそびの活動も取り入れて造形活動の楽しさを伝える。 ・どの児童にも理解できるよう、文章や言葉だけでなく視覚的にわかる掲示物を用意する。 ・道具を正しく使えなかったり、大切にできない児童には繰り返し注意をする。
算 数	・数に興味をもつ子が多く、積極的に授業に取り組んでいる。 ・引き算に入ってから、苦手意識をもつ子がいる。 ・具体物を用いると、視覚的に捉えることができ、関心をもって取り組んでいる。	・足し算や引き算では、ブロックやカードなど具体物を使用し、視覚的に捉えられるようにする。 ・足し算や引き算は、基礎を定着できるよう、導入で繰り返し指導する。 ・つまづいている児童には個別指導をする。 ・机間指導の充実で、その場で指導することを心がける。	家 庭		
理 科			体 育	・全体的に体を動かすことが好きな児童が多く、意欲的に活動している。 ・ルールややり方がわからない児童がいる。 ・並び方や準備運動など基本がまだできていない子がいる。	・どの児童も意欲的に活動できるような、場の工夫やルールの工夫を考えていく。 ・ルールややり方については、言葉だけではなく、視覚的にわかるように、掲示物を用意する。 ・並び方や準備運動は、毎時間確認するようにし、基本を徹底していく。
生 活	・動植物との触れ合いを好み、積極的に取り組む児童が多い。 ・自分たちから多様な考えや工夫点を出すことができる。	・学校内だけでなく、公園や門の外の様子を観察し、視野を広げさせる。 ・児童の疑問から授業を展開させ、一緒に調べたり、発展させる指導をする。 ・「楽しい」といっそう実感できるように子供の経験や実態を把握する。	総合的な学習の時間		
その他（道徳・特別活動等） ・自分の伝えたいことを言葉でうまく伝えることができない。→道徳や特別活動の中で自分の気持ちを表す活動をしていく。 ・道徳では、ロールプレイングの手法を用いて、相手の立場に立った考えができるようにしていく。					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・流暢に音読できる児童が多い一方、一字ずつ指で文字を追いつつながらでないと読めない児童が数名いる。 ・ほとんどの児童が感想や考えを書くことができるが、その考えをすすんで発表できる児童は限られている。	・授業内で追い読み、一斉読み、丸読みなど様々な音読の経験を積ませ、音読に慣れさせる。また、家庭での課題とする。 ・全員が発表する機会を設け、発表できたときには誉め、自信につなげる。 ・視覚に訴える指導法の工夫をするとともに、練習の積み重ねを保证する。	音楽	・音楽を楽しんで学習を進めることができ、拍を感じながら歌ったり、体を動かしたりすることができる。 ・集中力が切れてしまうことがある。	・学習のねらいを明確にし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽を聴いたりする時間を多く取るようにする。また、個別指導も多く行うようにする。 ・学習のルールを適宜指導し、定着させていく。
社会			図工	・楽しみながら造形活動に取り組むことができている。 ・意欲的に道具や材料を準備することができている。 ・集中力が切れてしまう児童がいる。	・児童が常に集中して活動できるように、鑑賞する時間と造形活動する時間をバランスよく確保する。 ・児童全員が「楽しい」「わかる」と感じることで授業ができるよう、教材研究を重ねる。
算数	・課題に取り組む姿勢に個人差が大きく、すぐに取り組めない児童がいる。 ・長さや時間と時刻等量と測定の領域は、理解度が低い。	・T Tでの授業形態を生かし、個別に声をかけ支援する。 ・日常生活で長さや時間、時刻を意識させ、継続して学ばせる。	家庭		
理科			体育	・体を動かすことを好む児童が多い。 ・素早く整列することができ、授業内の運動量が十分に確保されている。 ・どの運動においても個人の能力差が大きい。	・様々な運動に取り組ませ、児童の興味関心を高める。 ・授業中のルールを徹底し、安全に運動できるようにする。 ・個別に支援する機会を増やしたり、グループ編成の工夫をし、教え合う活動を取り入れたりする。
生活	・自然に関わる活動に興味をもつ児童が多い。 ・観察は気付きがあってもそれを書き表すことが難しい児童が複数いる。	・学校の環境を生かしながら、児童の興味関心をひくような展開を工夫していく。 ・個別に支援する機会を増やすようにする。	総合的な学習の時間		

その他（道徳・特別活動等）

- ・資料に基づいて考えたり話し合ったりすることはできるが、日常生活と結びつかないことが多い。場に応じて適切に指導を重ねていく。（道徳）
- ・話し合ったことを生かして活動させることで楽しさを味わわせる体験を増やし、自信をもたせる。（特別活動）

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国 語	すべての項目でAまたはBと評価した児童が7割以上であったが、その中で、道具の準備やノートなどのまとめ、授業内容の理解と進度の面でやや低い結果となっている。	- 何を学習に使うかを明確にするとともに、忘れ物の多い児童については家庭との連携を深めていく。 - ノートなどをうまくまとめられない児童には、個別指導を行い、毎時間点検を行う。 - 学習の進度によってはよく理解できていない児童がいるので、理解度に応じてヒントを多めに出すなど個別の対応をしていく。	音 楽	「積極的に授業に取り組んだ」児童が90%以上、「授業にけじめがあり、一生懸命取り組める」児童が100%であり、音楽に対して意欲をもって取り組むことができている。 - 器楽での技能が定着するまでに時間がかかることがある。	- 全体指導と個別指導をバランスよく行い、技能が確実に身に付くようにしていく。 - 特に器楽では、少人数のよさを生かし個別指導を多く取り入れ技能の向上を図りたい。
社 会	ほとんどの項目でAまたはBと評価した児童が8割以上であったが、その中で授業のけじめという点がやや低い結果となった。これは1学期地域を探検したりする学習が多く、明確な目的意識をもたずに授業に望んでしまった児童がいたためと思われる。	学習の目的と流れを明確化し、児童が見通しをもって、学習に取り組めるようにしていく。	図 工	- 授業アンケートではほとんどの項目で「とてもできた」「できた」と感じている児童が9割程度おり、意欲的に活動できていることが伺われる。 - 材料や道具を忘れてしまったことを反省せず、繰り返し忘れ物をしてしまう児童がいる。	- 発想力のある児童の作品を紹介し、それぞれの個性を認めることができる環境作りをする。 - 毎回道具や材料の確認を行い、児童が自ら進んで材料集めができるよう導く。
算 数	- 課題に取り組む姿勢に個人差が大きく、すぐに取り組めない児童がいる。 - 長さや時間と時刻等量と測定の領域は、理解度が低い。	- 少人数担当者と連携を取り、進度や配布物の内容等における共通理解を図り問題解決型学習の学習パターンが定着するようにする。 - 少人数のよさを生かして、個別に声をかけ支援する。 - 日常生活で長さや時間、時刻を意識させ、継続して学ばせる。	家 庭		
理 科	- 内容には興味・関心があり、観察、記録もできる。 - 観察などに集中できる時間が短い。 - 知識の定着が不十分である。	- 観察するときには何を重点にするのか、記録するときの注意点など、少しずつ注意喚起をしながら集中を持続させるようにする。 - 毎時間、以前学習したことへの復習を繰り返すようにしていく。	体 育	- 授業アンケートの結果はどの項目もAまたはBの割合が8割以上であったが、授業の進め方があっていないと感じている児童が2名いる。 - 鉄棒など、低学年で身に付けることが望ましい運動技能が身に付いていない児童が多い。	- 運動が苦手な児童に対し、スモールステップで目標を設定し、自分の成長が感じられる工夫をしていく。 - 休み時間などに行う練習の相手をできるだけする。その中で、進歩があったところを見逃さず評価し声をかけることで、意欲を持続させていく。
生 活			総合的な学習の時間	- 問題解決的な学習のパターンはある程度身についてきたが、目的意識が薄く遊び感覚になってしまう児童がいる。 - 最後のまとめ方を自分なりに工夫することが難しい。これはまとめ方のパターンをあまり知らないためである。	- 課題をはっきりさせ、活動の計画を練る段階や実際に活動する時点で必ず確認するようにする。 3学年の段階では、新聞や本、レポートや模造紙に書くなど、基本的な発表の仕方を教え、4学年以降に自分で選択したり工夫したりできるようにする。

その他（道徳・特別活動等）

- 道徳：思いやりに欠ける言動が見られることがあるので、相手の気持ちを推測する力を高める道徳の授業を展開していく。
- 特別活動：主体的に児童が取り組む活動を通し、表現力、コミュニケーション力を高めていく。また、話し合い活動を多く取り入れ、自分の考えを発表する力、人の考えを聞く力、どうすればよいか考え合う力を身につけさせ、社会性を高めていく。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・友達の発表を聞くことができる。 ・話す・聞くは得意な児童が多い。 ・自分の考えに対して自信がない児童もいる。 ・興味・関心のもてる授業の進め方を工夫していく必要がある。	・これからも1時間に1回は発言や発表の機会を作り、自分の考えを全体に伝える場を設ける。 ・机間指導をしながらどの児童にも声かけをし、つぶやきも取り入れていく。 ・自分の考えに自信をもたせ、じっくり考える時間をとるようにする。 ・発表・音読などの学習活動を組み合わせて、学習活動にメリハリをもたせる。	音楽	・授業アンケートからは、ほとんどの児童が音楽に対して興味・関心を持ち積極的に学習に取り組むことができた。 ・「授業の進め方は、ちょうどいい」が、85%で、「あまり思わない」「思わない」が約15%いる。	・児童の実態に合わせて、教材となる楽曲を選択していくようにする。歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりの各領域をバランスよく組み合わせ、学習を進められるようにする。 ・児童の実態や一人一人の学習状況を把握し、実態に合った進め方をしていきたい。
社会	・ゴミや水については、身近な内容だったため興味・関心をもって授業に取り組めた児童が多かった。 ・実際に調べる単元が多く、その結果を班や近くの児童と考察をする授業だったので、満足した児童が多かった。また学習のまとめ方も形式を変えたことで楽しく取り組めた。	・自らが調べて歩くことが学習内容への興味を持つ第一歩になっているので、調べ学習を中心に進める。 ・社会科見学・出前授業を計画しているので、事前学習を計画的に行う。まとめは、内容を充実し見やすさ等を工夫して取り組ませる。 ・出来上がった作品をクラス内で認め合う時間も確保しノートへのまとめ方を助言していく。	図工	・授業アンケートでの自己評価では「とてもできた」「できた」がどの項目も95%以上であることから意欲的に学習に取り組んでいることが伺われる。 ・授業を楽しんでいると感じていない児童が95%いる。	・全体的に授業を楽しみながら意欲的に活動できているので、発展的な題材も取り入れていく。 ・苦手意識をもっている児童を中心に一人一人に合った助言をして、全員が意欲的に活動できるよう支援する。
算数	・準備・やる気はしっかりもっている。 ・分かる・楽しい・できるようになったという満足感をもっている児童が半分ぐらいである。	・少人数教室でのルール作りを徹底する。 ・少人数担当者と連携を取り、進度や配布物の内容等における共通理解を図り問題解決型学習の学習パターンが定着するようにする。 ・具体物や半具体物の教具を活用しながら、理解が深められるようにする。	家庭		
理科	・観察、実験にはとても積極的に外での作業にも熱心に取り組む。 ・ノートに結果を整理する、正確に記録することができない子がいる。	・学習内容を実験や観察の結果と結びつけて理解するよう、観察カードや図鑑なども活用していく。 ・ノートの書き方は機会あるごとに細かく丁寧に指導することを続け、ノートの書き方・まとめ方を定着させるようにする。	体育	・テンポ良く、待ち時間がなく、常に全員が運動できたことが、ほとんどの児童が充実できた要因と思われる。 ・運動会での80m走、表現についても全力を出し切り、達成した満足感が感じられた。	・1学期同様に教材研究を十分に行い、テンポ良く運動が行えるようにシミュレーションしておく。 ・朝取り組んでいるマラソンも体育学習に取り入れ、一人一人のやる気と根気につなげる。 ・自分で記入できる学習カードを活用し、自主的な取り組みを推進する。
生活			総合的な学習の時間	・体験活動は進んで取り組む。 ・調べ学習の方法、発表方法等についてパソコンリテラシーも行い充実できた。	・これからの課題でも自分の知りたいことを明確にし、最後まで追求していく態度を育てる。 ・パソコンや図書の利用など、調べ学習の方法を多く紹介し、分かりやすく、楽しく発表する場を工夫する。
その他（道徳・特別活動等） ・道徳の授業の中では、友達の気持ちを思いやり、よい解決に向けての意見を発表することができる。実際については、その場その場での対応がまだまだ必要な児童もいる。 ・学級会がなかなか開けなかったため、2学期は、児童の積極的な取り組みを取り入れながらできるだけ多く行いたい。学級会の進め方に関しては、国語でも学習し、よりよい進め方の指導も行っていく。					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国 語	・積極的に授業に取り組んでいる児童がほとんどである。友達の発言もしっかりと聞いている。 ・分からないことがあったときに、質問することをためらう児童もいる。 ・ノートのとり方には相当ばらつきがある。	・授業中に考えを交流する場面を多く設けるよう配慮する。 ・自分の思いや考えを表すのが苦手な児童に対しては、ペアやグループ活動を有効に活用していく。 ・ノート指導を丁寧に繰り返していく。	音 楽	・授業が楽しいと感じている児童は約90%であり、音楽に楽しんで取り組んでいることがわかる。 ・授業のけじめの点で課題が見られる。	・児童の実態に合わせた楽曲を選択し、興味をもって授業に取り組めるようにしていく。 ・また、個別指導を取り入れるようにし、一人一人が「できた」と実感できるようにしていく。 ・音楽の授業でのルールを確認し、集中して学習に取り組めるようにする。
社 会	・社会に対する苦手意識をもっている児童がまだ多い。 ・大陸や海洋、既習の都道府県の位置など、意欲的に覚えようとはしているが、定着率は低い。 ・資料の観察に関しては、比較的得意な児童が多い。 ・概ね楽しいと感じている。	・覚えなくてはいけない事項が多い中、ポイントを絞って、大事な知識を確実に習得させるようにする。 ・資料の観察力や表現力を伸ばし、自信をもたせるようにする。 ・買い物などの日常的な体験と結びつけながら学習を進めていく。	図 工	・授業アンケートでの自己評価では「とてもできた」「できた」がどの項目も9割であることから意欲的に学習に取り組んでいることが伺われる。 ・授業中に考える時間が不十分である児童が25%近くいる。	・授業での規律に重きを置き、「楽しい」「わかる」だけでなく、一人一人が一生懸命取り組める環境をつくる。 ・鑑賞やアイディアスケッチの時間を確保し、じっくり考えて造形活動に取り組めるようにする。
算 数	・問題解決学習への取り組みとして、表現方法をあまり知らない児童もいる。また算数の苦手意識がでている児童もいる。 ・授業で発表できない児童への配慮も必要であった。 ・具体物やゲーム感覚の授業には積極的に取り組めた。	・ノートへの記入の仕方を繰り返し指導していく。 ・全員が参加できるような問題提起の方法と、解決方法も個人・ペア・グループ・全体と段階をつけ、一人一人が自分の考えを楽しく発表できるようにする。	家 庭	・授業アンケートの結果は、どの項目もA評価が8割以上であることから、授業を楽しんでいることが伺われる。 ・分かる、できることがあり、意欲に結びついている。 ・作業や活動の振り返りについて課題が見られる。	・分かる授業、できる授業をすることが意欲、学力に結びついていることから、分かりやすく達成感のある課題を設定する。 ・安全指導については徹底し、例外を作らない指導をする。 ・振り返りの時間を確保し、学習を確かなものにする。
理 科	・観察(植物)実験(モーター、電池)には積極的だが、事前の話をきちんと聞いたり、事後のまとめをていねいに書いたりすることができない子が多い。 ・どういうふうにノートに書くか図をどう描くのか等の細かい指導が不足していた。	・授業を受けるにあたってのルール、ノートの書き方・字や図をていねいに書くことを再確認したい。 ・1時間に修得する内容を明確にし、取り組みやすい教材を工夫する。	体 育	・運動会前から当日までの練習で自信を深めた児童が多い。 ・できなかった逆立ちが、できるようになったという、具体的な成果が達成感につながった。 ・授業態度はけじめがあり、係を中心に自発的に活動している。	・苦手意識をもつ児童に対しては、実現可能な小さな目標を積み重ねることで、達成する喜びや楽しさを味わわせるようにする。 ・1時間の中での活動量を、できるだけ増やすような授業構成を考える。 ・ルールを守る大切さを学ばせることで、日常のトラブルを防ぐ素地をつくる。
生 活			総合的な学習の時間	・稲作りに対する意識には、ばらつきがある。積極的ではない児童が多い。稲が弱ってきても無関心な児童なども気になる。 ・新聞づくりなどの作業は集中して取り組める。	・理科や道徳の授業とも連携しながら、命の大切さや、労働の楽しさなどを伝えられるような教材の工夫をする。 ・大人が準備をし過ぎないように、自主的に活動できる場をつくっていく。

その他(外国語活動・道徳・特別活動等)

- ・外国語活動を楽しみにしている児童は多い。担任の英語力を高めていくとともに、体験的な活動の場を多く設け、活動内容がわかるように絵で示したり、具体物で示したりするなどの工夫を行っていく。
- ・道徳に関しては、児童の多様な意見を尊重し、単純に集約することなくめあてにつなげていく。
- ・特別活動では、高学年という自覚をもたせ、さまざまな活動を中心になって行うようにする。また必ず振り返りを行う。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題		教科等	現状と課題		改善策			
国 語	・友達の話の聞いたり、学習内容をまとめたりすることができる。 ・音読や漢字の読みはできるが、書き取りの定着に個人差が見られる。 ・文章からの読み取り、またその内容を交流して高めたり深めたりすることにやや消極的である。		・できることを評価し認め、伸ばしていく。 ・漢字学習を工夫し、朝学習や家庭でもより取り組ませ、積み重ねが力となることを実感させる。 ・発言の機会を増やし、互いに認め合えるようにする。		音 楽	・9割以上の児童が、「積極的に取り組めた」「分かる、楽しい」と感じており、音楽に対して、興味・関心をもち楽しんで学習している。 ・授業のけじめの点では、「あまり思わない」「思わない」が3割以上いる。		・児童の実態に合った楽曲を選択し、高学年として充実した合唱や合奏ができるようにする。 ・学習のルールを再確認し、全体で集中して楽しみながら音楽に取り組めるようにしていく。	
社 会	・授業内容をノートにまとめることに興味・関心が高く、板書以外にも自分で調べて工夫したノートづくりができる。 ・基本的な知識理解の定着度に差がある。		・引き続き毎時間ノートの評価をして高めていくが、個人差もあるため、児童間で提示しあうなど磨きあえるような工夫をする。 ・中学部教員とのTTにより、わかりやすく、専門性の高い授業を行う。		図 工	・授業アンケートではほとんどの項目で「とてもできた」「できた」と感じている児童が9割程度いる。 ・授業の進め方がちょうどいいと感じていない児童が1割いる。 ・作品を完成させることができなかったと考えている児童が2割程度いる。		・授業の進め方が遅いと感じている児童には他の教材も準備し、全ての児童が常に意欲的に活動に取り組めるようにする。 ・なかなか活動に取り組むことのできていない児童には、休み時間やがんばりタイムで対応するだけでなく、授業時間内で作品を仕上げられるような様々なアイディアを提供し、創作意欲を高めさせる。	
算 数	・反復練習により、立式や計算はできるようになった児童が多いが、考える力を付ける問題では、自力で解答にたどりつける児童はまだ少ない。 ・習熟度でクラス分けをしているが、進んでいるクラスの方で理解度の差が大きい。		・児童が興味をもつ教材選びをし、最後まであきらめずに考える粘り強さを身に付けさせる。児童の学習状況を等を見ながら授業を進めていく。 ・少人数担当者と児童の学習状況等の情報交換を密にしながらかlass分けを見直す。また、理解が困難な児童に対しては、課題の提示の仕方やヒントカード等、個別の対応を工夫していく。		家 庭	・新しい課題に対して意欲的な取り組みである。 ・授業アンケートからは授業を楽しみ、課題に対して前向きに取り組んでいる様子が見られる。 ・できるようになったとの回答は100%であるが、実生活につながる指導がこれからの課題である。		・課題は分かりやすく、達成感のある活動を設定する。 ・分かる楽しさ、できるうれしさのある授業を構成し、自己肯定感をはぐくむ授業をする。 ・実生活との関連を考慮し、家庭での実践に結びつくようにする。	
理 科	・実験や観察には積極的に関わろうとする児童が多い。 ・他教科と比較すると分かった実感をもてる子が少ない。		・実験や観察の際には目当てをはっきりと持たせるように、板書・ワークシートを工夫する。 ・実験の考察では話し合いの時間を十分に確保し、科学的知識の定着を図ることで分かる実感をもてるようにする。		体 育	・走ることや水泳等に意欲的に取り組むことができる。 ・個人が優先するあまり、協力しあって楽しむことができない時がある。		・めあてをもたせ評価をすることで、より達成感を高めていく。 ・意欲的に取り組めるよう内容の工夫をし、グループで話し合う時間を確保して、意識付けをする。	
生 活					総合的な学習の時間	・課題に対して意欲的に取り組む姿勢が見られる。 ・友達と積極的に意見を交換し、広い視野からまとめたり、相手に伝えたりする体験を増やしていきたい。		・課題解決を通して、身近な問題にも目を向けさせ前向きに生活しようとする姿勢をもたせたい。 ・目的に応じた効果的な表現のしかたを体験させる。また、友達とのかかわりや活動を増やし、より深めていけるようにさせたい。	
その他（外国語活動・道徳・特別活動等）									
・外国語活動では、中学部英語教諭やALTとの連携を図りながら、より関心をもたせるように工夫する。 ・道徳では、卒業学年にふさわしい道徳的な判断力と行動力を育てるよう、授業内容を工夫する。 ・特別活動では、6年生として話し合いを十分行わせると共に、活動の振り返りを大事にして次へと生かせるようにする。									